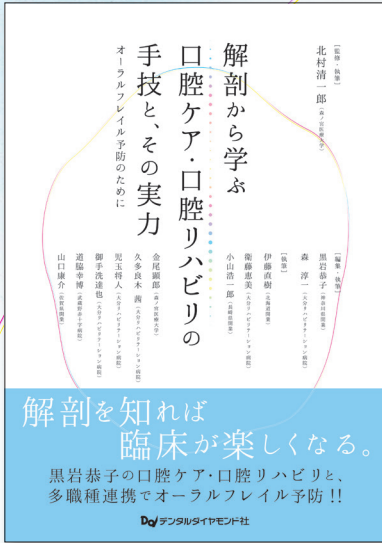


解剖から学ぶ

口腔ケア・口腔リハビリの

手技と、その実力

オーラルフレイル予防のために



解剖をすれば 臨床が楽しくなる。

黒岩恭子の口腔ケア・口腔リハビリと、多職種連携でオーラルフレイル予防!!

DENTAL DIAMOND社

A4判・232頁・オールカラー
本体12,000円+税

詳しい情報はこちら



〔監修・執筆〕

北村清一郎（森ノ宮医療大学）

〔編集・執筆〕

黒岩恭子（神奈川県開業）

森 淳一（大分リハビリテーション病院）

解剖を知れば臨床が楽しくなる。

黒岩恭子の口腔ケア・口腔リハビリと、 多職種連携でオーラルフレイル予防!!

口腔ケア・口腔リハビリに必要な解剖学の知識をまとめるのが本書の目的であるが、解剖学の知識のみならず、口腔の機能訓練や摂食・嚥下リハビリ臨床の現場まで記載の枠を越えた。解剖学の知識を、臨床により直結させたいという思いからである。解剖学から学んだ口腔ケア・口腔リハビリの手技の実力を読み取っていただきたい。 〈「刊行にあたって」より〉

CONTENTS

- 第I章 咀嚼・嚥下関連器官の構造とはたらき
- 第II章 咀嚼・嚥下器官の動きと筋・嚥下
- 第III章 口腔機能の改善はなぜ嚥下機能の改善に繋がるのか
- 第IV章 摂食・嚥下障害への対応
- 第V章 フレイルと口腔機能
- 第VI章 口腔リハビリにおける姿勢の調整と筋のリラクゼーション
- 第VII章 “黒岩恭子の口腔リハビリ”の3つの柱